ちあきの星空情報　　2018年6月

田中千秋（たなかちあき）

惑星観測

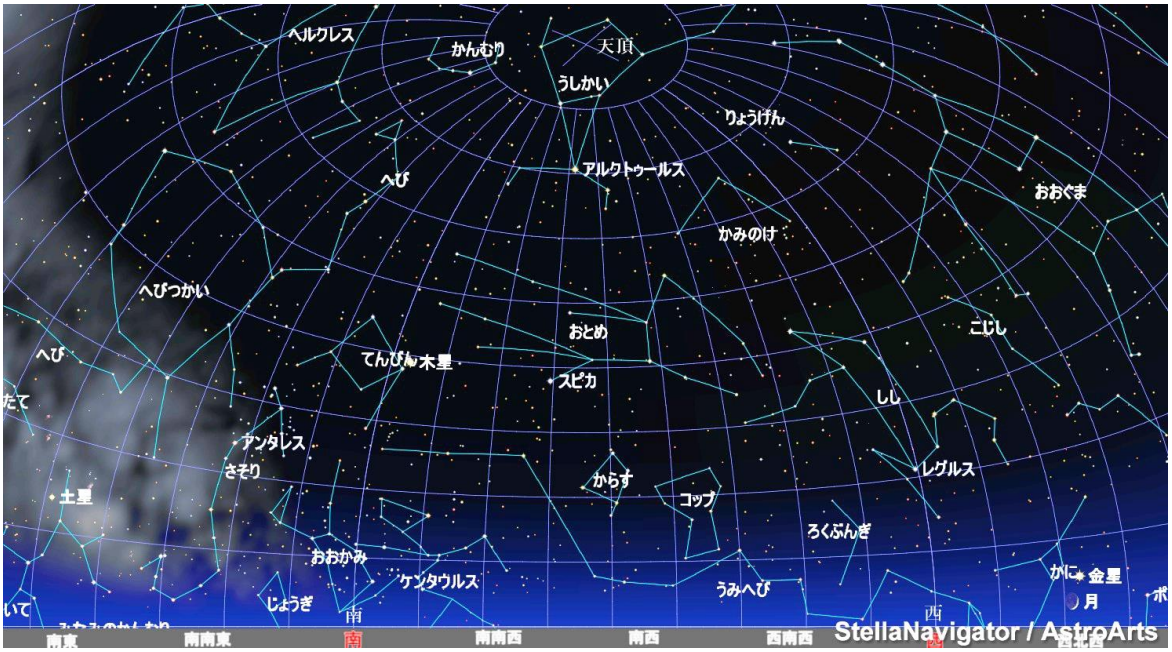
惑星観測の好機

６月になりました。６月というと梅雨時というイメージから星空が望めない月といった印象があります。

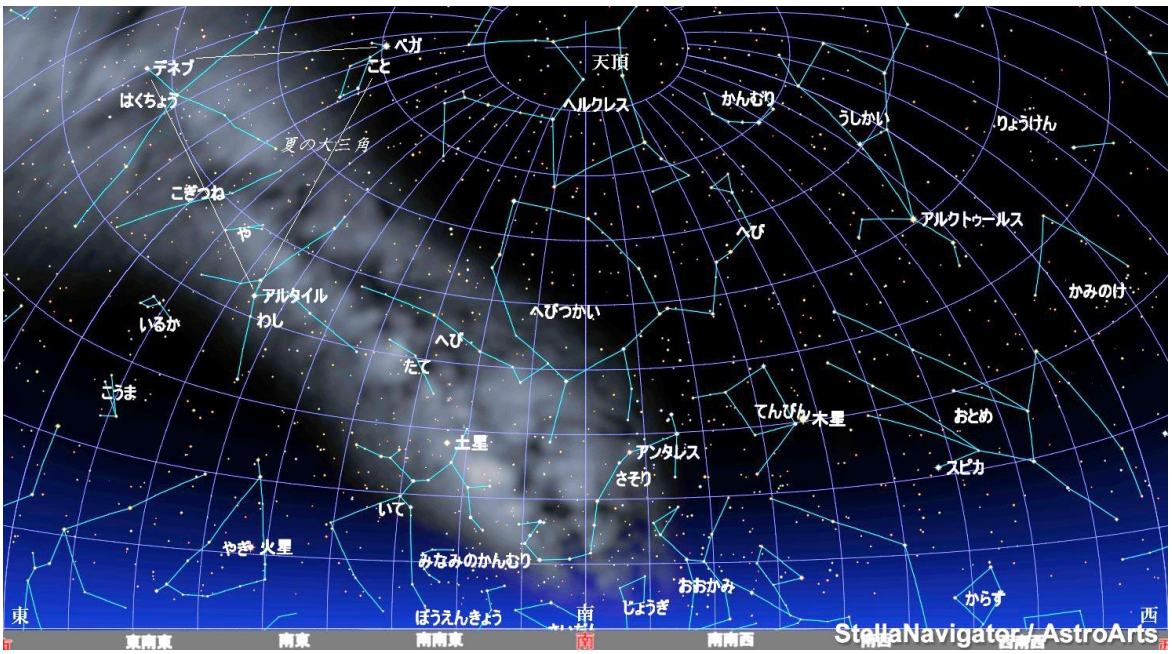
たしかに晴天率は良くない時期ですしお天気が良い日といってもすっきりと晴れていることが少ないのが６月の特徴といえますね。

しかし、今月からいよいよ惑星観測の好機がやってまいります。
４個の惑星が見られます。

それは、金星、木星、土星それに火星です。



この星図は、㈱アストロアーツの許諾を受け、天文シミュレーションのできる天文ソフトの星座画像ですが、６月１６日午後９時の星空を表しています。これを見ると、西の低空に金星が細い月と共に見られ、南のてんびん座の中には木星が輝いています。さらに南東の空にはいて座の中に土星も輝いていることがわかります。



さらにこの図は、同じ日の午後１１時の南の空のシミュレーション星図ですが、これを見ると木星、土星に加え、南東の空のやぎ座の中に火星の姿が見られることがわかります。

金星

金星は夕方の西の空で一番星として明るく輝いて見られます。

金星の姿は、天体望遠鏡で見ると月のように満ち欠けすることで知られています。

今月にはまだラグビーボールのような形状にしか見えませんが、月を重ね、９月頃には三日月状に見えるようになります。

金星の細くなった姿　　撮影：田中千秋

木星

木星は南の空に見え、金星に負けず劣らず明るく輝いて見えます。

位置は、てんびん座にあり、天体望遠鏡を使えば木星の表面の模様が縞状に見えますし、木星の周囲には、ガリレオ衛星と呼ばれる、イオ、エウロパ、ガニメデ、カリストと呼ばれる４個の衛星が公転している様子も観察できます。

これらの衛星は、ガリレオ・ガリレイが天体望遠鏡を使って発見した衛星なので、ガリレオ衛星と呼ばれています。

今年の５月１１日に撮影された木星像をお見せします。表面には縞模様や大赤斑が見られます。

木星の姿（5月11日）撮影：川端隆幸

土星

土星は、いて座の中にあり、大きな環を持った独特の形状に見えますので、やはり天体望遠鏡で観察を楽しみたいものです。

もっとも小型の部類の口径６センチ程度の屈折望遠鏡でも３０倍以上の倍率で観察すれば、環（わ）の存在を確認できますし、口径の大きいたとえば１０センチ屈折望遠鏡に１００倍程度の倍率をかけて観察すると、はっきり環が本体をとり巻いていることが確認できることでしょう。

土星の姿（5月11日）　撮影：川端隆幸

火星

火星は７月３１日に地球に大接近します。

６月ころは、午後１０時過ぎ頃に東の地平線側から昇ってきますので、午後１１時頃から観察しやすくなります。

その存在だけを確認するのは肉眼で十分です。他の星よりも赤く見える特徴を持っていますので、やぎ座の中の最も明るく赤く輝く星としてみつけましょう。
天体望遠鏡で観察すれば、表面が面的に見えるとともに、表面模様も観察できます。
ところで、地球は１年かけて太陽の周りを１周する公転を行っていますが、火星はその公転が約１．８８年です。

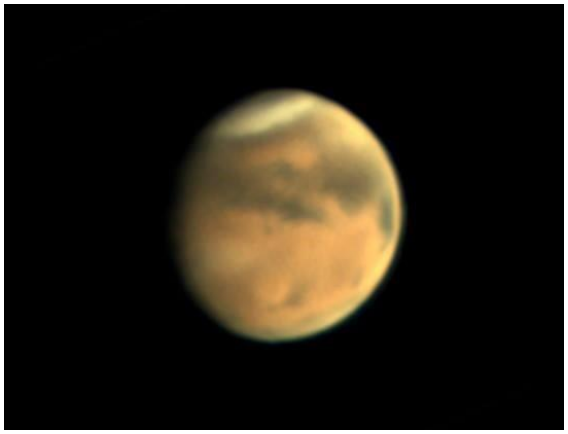
地球も火星も周期の異なる公転をしていますので、両惑星の接近には約２年２か月ほどかかります。

しかも両惑星は楕円軌道で公転していますので、接近の度合いがその都度違います。

今回の接近は、１５年ぶりの大接近となります。ぜひ天体望遠鏡を使ってその姿を確認しましょう。

火星大接近の日は７月３１日ですが、その１か月以上前から比較的大きく見え、また１か月以上先まで観察することができます。つまり、夏休み期間中は、ずっとその姿を楽しむことができるということになります。

天体望遠鏡を使えば毎日の火星表面模様の変化を記録でき、肉眼での観察であれば火星が日々、星座の中の位置を変えていく様子を記録することができます。
観察の内容によっては、夏休みの自由研究にすることもできるでしょう。



火星の姿（5月23日）　撮影：川端隆幸

６月の星空

６月は梅雨の季節ですが、晴れる日もありますから、晴れて星空が美しく見られる日には、星空を仰ぎ見ましょう。

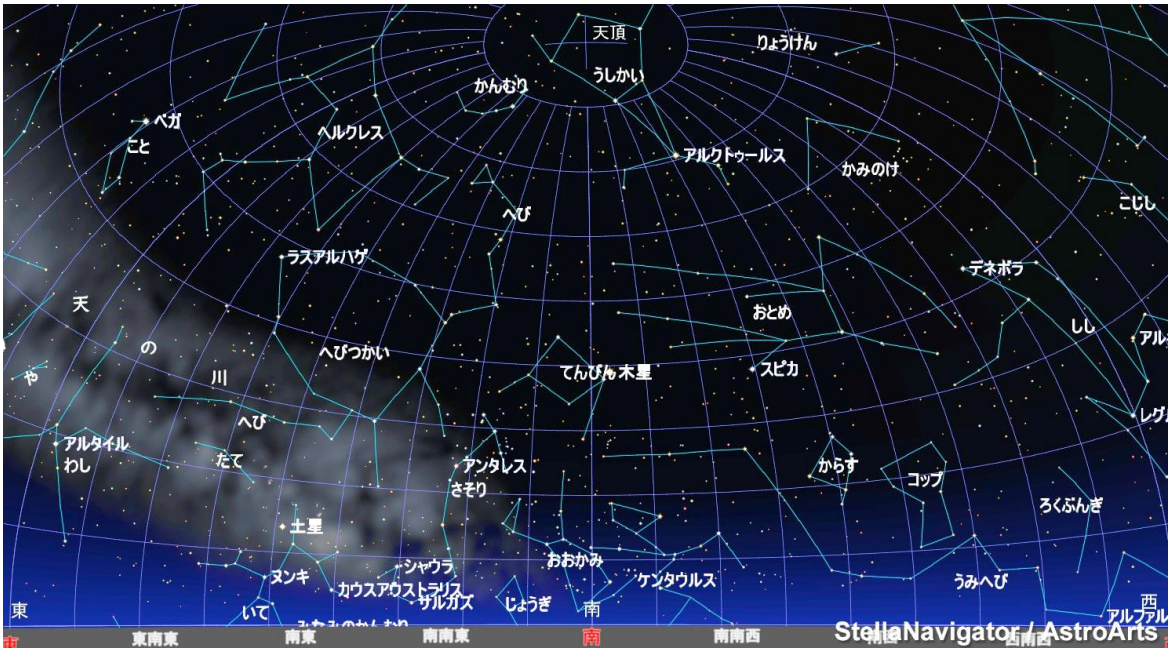
夜空は、春の星座から夏の星座に移行してくる時期です。ぜひ晴れた夜をねらって、星空散歩をしてみましょう。

星図をたよりに星空を見上げれば、春の星座がだんだんと西へ移動して、東の空から夏の星座が昇ってくる様子を確かめることができます。

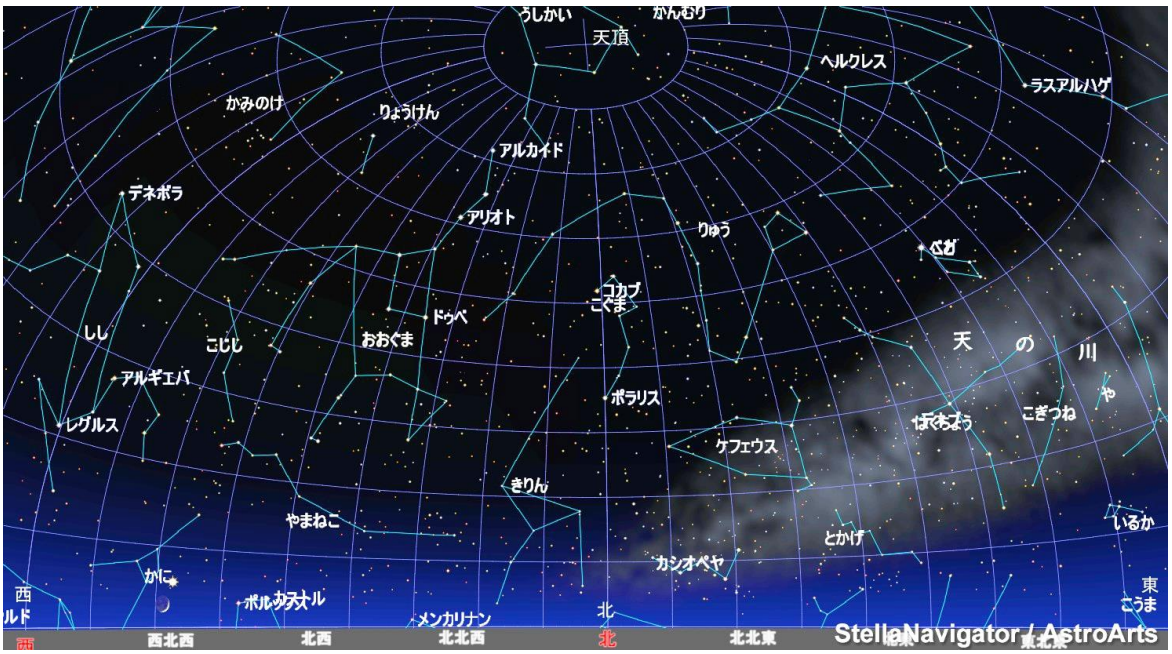
春の星座の中にある「春の大三角」に続いて、今度は「夏の大三角」をみつけることができます。

星座の形状や名前は､下図の星図をクリックして大きくなった星図をプリントアウトして持参し、星図と本物の星空を照らし合わせて星や星座をみつけるようにしましょう。

南の星空



北の星空



６月の中旬、午後９時ころの星空です。この情報で使用する星図は、㈱アストロアーツの許諾を受け、天文ソフト「ステラナビゲータ１０」を使用しています。

６月の天文情報

日	曜日	月齢	天文現象など
１	金	16.6	月の赤緯が最南
２	土	17.6	
３	日	18.6	月と火星が接近
４	月	19.6	
５	火	20.6	
６	水	21.6	芒種（二十四節気）
７	木	22.6	下弦の月
８	金	23.6	
９	土	24.6	月が天の赤道を通過（北半球へ）
１０	日	25.6	
１１	月	26.6	入梅（太陽黄経80度）
１２	火	27.6	
１３	水	28.6	
１４	木	0.3	新月
１５	金	1.3	月の距離が最近　月の赤緯が最北
１６	土	2.3	細い月と金星が接近
１７	日	3.3	
１８	月	4.3	
１９	火	5.3	
２０	水	6.3	上弦の月　金星とプレセペ星団が大接近
２１	木	7.3	夏至（二十四節気）　月が天の赤道を通過（南半球へ）
２２	金	8.3	
２３	土	9.3	
２４	日	10.3	
２５	月	11.3	
２６	火	12.3	
２７	水	13.3	土星が衝
２８	木	14.3	満月　月の赤緯が最南　月と土星が接近
２９	金	15.3	
３０	土	16.3	月の距離が最遠